



ほんものを たべよう

提出日	10/火	11/水	水	金
	31	1	2	3
配達日	11/火	水	木	金
	7	8	9	10
翌々週分配達日	11/火	水	木	金
	14	15	16	17

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのように作ったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

Alter Weekly Order Catalogue

2023. 11月2週号

無農薬野菜

オルター流 低投入型有機農業のお手本

おいしいと言ってくれる会員の声が届く

當麻有機の会 奥野 修司

文責 西川 榮郎(オルター代表)

低投入型有機農業

當麻有機の会(拙著「あなたのいのちを守る安全な食べもの百科①」p.49参照)のメンバーの一人である、大阪府貝塚市の奥野 修司さんは、農薬や化学肥料、除草剤を使わず、オルターが薦める低投入型の有機農業を行っています。農作業は修司さんの他、妻の昭子さん、兄の泰弘さん、母の好子さんと205aの水田、畑を耕しています。

現在の栽培品目はほうれん草、トマト、ミディトマト、玉ねぎ、にんじんなどです。

農薬を使わず、自然力を活用

農薬を使った病害虫の駆除はもちろん行っていません。

トマトハウスについては、太陽消毒を行っています。トマト収穫後、7月頃に代かき(圃場に水を張り、土をかき混ぜる)し、ハウスを密閉し、太陽の熱で病害虫を駆除しています。

除草は草刈機で手除草です。もちろん除草剤は使っていません。

ジャンボタニシをうまく活用して、水田の除草に使っています。

自然栽培に近い有機農業

使用している肥料はオルターが薦めているシグマ菌ぼかし(タナカファームにて生産)、ワラ・もみがら・米ぬか(自家製)、竹ヤブの腐葉土(自家製)、カキガラ(広島県産)です。ほぼ自然栽培に近い低投入型の有機農業です。台風の直後の畑に行きましたが、水はけの良い、いい土



壤の状態でした。

大きくなった野菜はおいしく、栄養あり

通年で出荷をするため、例えばほうれん草では小さいときから、いく分大きくなったものまで届きます。草もの葉物野菜は大きくなった方がおいしく栄養があるのですが、市場では見栄えが優先され、「商品価値」で判断されてしまいます。私たちは「商品価値」ではなく、安全、おいしいなどの「使用価値」で判断したいものです。

奥野さんの出荷は、余裕がある時は基本増量しています。もちろん出荷量に余裕がなく、ギリギリの時もありますが。

有名ブランド、泉州の玉ねぎ

奥野 修司さんは高校卒業後、派米農業研修生として2年間アメリカで学びました。ネーブル、オレンジ、アボカドなどの栽培技術でした。

帰国後は父の農業を手伝いました。お父さんはイチゴやみかんの農家でした。農薬を控えたタイプの人で、イチゴ・みかんは減農薬で栽培し、当時は関東の団体へ出荷していました。

そのイチゴの減収が続いたため、奥野 修司



當麻有機の会の奥野 修司さん

さんは泉州の有名ブランドである「玉ねぎ」の有機栽培を始めました。

有機農業の師匠は當麻有機の会

有機農業の手ほどきは、父の師匠である當麻有機の会代表、永座 康全さんから受けました。玉ねぎの出荷もその當麻有機の会を通じてしていました。

當麻有機の会とオルターが提携を開始したので、オルターとの提携が始まりました。今から27年前のことです。

自分も食べられるものを出荷したい

奥野 修司さんが有機農業に目覚めたきっかけは、お父さんの影響でした。「自分が食べられるものを出荷したい」がお父さんの生前からの口ぐせでした。通常農家は出荷用とは別に農薬を控えた自家用を栽培するものですが、そんなことをお父さんはされなかったのです。

奥野 修司さんは小さな頃から家の農業を手伝っていましたが、それは楽しかったそうです。今はおいしいと喜んでくれる人たちの笑顔が支えたとおっしゃっています。オルターの会員の強力な支えに感謝されています。もっとイベントなどで出会いたいとおっしゃっています。

くだらないと思った有機 JAS

あるスーパーへの出荷のため、有機 JAS 認証をとったことがありましたが、今はやめています。やめたのは、そのスーパーは有機 JAS マークを店頭で利用したいだけで、まともな流通にならなかったことが一番の理由でしたが、有機 JAS 自体、廃材(シロアリ防除のヒ素や農薬などの汚染がある)などを原料とする木酢液が禁止された時、当時奥野さんが使っていた国産の木酢液や竹酢液までダメと言われるなどゴタゴタが続き、くだらないと思ったからでした。

今はオルターの栽培基準の方を高く評価されています。

當麻有機の会 奥野 修司さんの 野菜 ☆☆☆

●作付品目

ほうれん草、トマト、ミディトマト、玉ねぎ、にんじん

●防除

農薬不使用
太陽消毒(ハウス)、ジャンボタニシ(除草)、草刈機による手除草

●施肥

シグマ菌ぼかし 拙著「あなたのいのちを守る安全な食べもの百科②」p.86参照

自家製 ワラ、もみがら、米ぬか、竹ヤブ腐葉土
カキガラ(広島県産)